

輝けロータリアン、ささやけ歴史の真実 ～あなたの笑顔が見たいから～

Rotary 

行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2023-24RI 会長:ゴードン R.マッキナリー ガバナー:高丹秀篤 会長:坂本研一/幹事:小池俊輔
例会日:木曜日午後 12:30 会場:ガーデンパレス 編集・発行:IT、公共イメージ向上委員会 委員長:小松和弘

11月2日(木)・3日(金)

[親睦ゴルフ・交流会]

桑名北ロータリークラブの皆様

桑名北ロータリークラブ訪問記

表記期日に三重県桑名市桑名北ロータリークラブを 16 名のメンバーと共に訪問致しました。例会場は今年度から六華苑敷地内フレンチレストラン Rocca に変更になったそうです。素晴らしい建築物なので以下少々説明文を掲載させて頂きます。



六華苑(旧諸戸清六邸) は、山林王として知られた実業家、二代諸戸清六の新居として明治 44 年に着工、大正 2 年に竣工されました。

揖斐・長良川を望む約 18,000 m² の広大な敷地に、洋館と和館、蔵などの建造物群と「池泉回遊式」庭園で構成されたこの邸宅は、一部の改修と戦災を受けたものの、創建時の姿をほぼそのままにとどめています。その中でも特に洋館は、鹿鳴館やニコライ堂などを手がけ「日本近代建築の父」とも呼ばれたイギリス人建築家 ジョサイア・コンドルが設計し、我が国の住宅建築史上からも注目される存在です。

コンドルは 25 歳で来日して以来、67 歳で没するまで 70 近くの建築作品を世に送りましたが、そのほとんどは東京と神奈川県内に集中していたため、その後の関東大震災や戦災等により現存する作品は非常に少なくなっています。

桑名市は平成3年に土地を取得し、建物は諸戸家からの寄贈を受け、整備工事の後、平成5年に「六華苑」という名称で一般公開しました。そのうち、洋館および和館は平成9年に国の重要文化財に指定され、他の6棟が三重県の有形文化財に指定されています。また庭園は、平成13年に国の名勝に指定されました。六華苑は、地方に唯一現存するコンドルの住宅作品として、注目されています。

さて桑名北ロータリークラブの例会ですが午後7時に点鐘になり、食事をしながらの例会になります。8時には閉会点鐘になります。月に2~3回の開催だそうです。今回は大谷純一エレクトの卓話になりました。また会場には行田から持参した三方領知替のぼり旗も立てさせて頂き盛大に開催されました。二次会場は桑名北RCの安田会員のお兄様の経営するお店の二階で10時半過ぎまで和やかに開催されました。その後3次会、4次会、5次会迄行き、朝5時帰りのメンバーもいたそうです。

2日目の朝、メンバーが1人時間になっても降りてきませんでした。小池幹事がホテルの従業員と共に起こしに行き部屋を開け、ようやく事なきを得ました。6時50分に桑名北のメンバーがホテルまで迎えに来て、桑名カントリークラブまで送ってくれました。

天気快晴の中、和やかにコンペは開催され、団体戦は行田RCの優勝、個人戦優勝は桑名北RCの一柳さん、準優勝、第3位は行田の富田さん、小池幹事、ベスグロは行田の山本正幸さん、桑名北の近藤さんで87でした。参考までにスコア表を添付しておきます。

大変和やかなうちに盛り上がり、来年は行田にて開催を致します。お待ちしていますので大勢のメンバーをお連れになりお越しください。と会長挨拶を申し上げお開きになりました。翌日もゴルフの予定がある私坂本、そして2日後にゴルフの予定がある鴨田さん、山本憲作さんをアルファードに乗せ、片道420km、往復840kmの道のりを運転して頂いた富田さんには本当に感謝であります。「あなたの笑顔が見たいから」を実践している素晴らしいロータリアンだなど心から感じました。







懇親会・晩餐会





